

SKH校内防災放送

関西大学社会安全学部
近藤誠司研究室

校内防災放送 取り組みの背景

- 校内防災放送のねらい**
- 1 持続的な防災学習手法の開発 → 毎週
 - 2 教育現場の負担増にならない手法 → 委員会
 - 3 防災教育と安全管理のリンケージ → 内容
 - 4 地域防災と学校防災のリンケージ → 出演
 - 5 小学生と大学生のまなびあい → 共同
 - 6 ネガティブをポジティブに → 演出

阪神・淡路
大震災20
年を目前に
して、挑戦
がはじまり
ました。



防災啓発

両立

震災伝承

真陽こども放送局(SKH)



では、第1期、
学校にいるときに、防災の知識を知らせる「警報」が発表されたら、
次のうち、どのような行動をとるとよいでしょうか？

- 1: 急いで帰るよう指示を待てる
- 2: 家裏に知らせるため家に戻る
- 3: 先生の指示にしたがってこの部屋に隠れる

正解は、「3」の「先生の指示にしたがってこの部屋に隠れる」です。
防災訓練でわかっていることと、あわせて、先生の指示にしたがって避難しましょう。

安全管理の方針と直結

右側は、実際の放送
会本の抜粋です。
高学年区の特徴に
あわせて、児童には
広域避難場所を
しっかり伝えます。
クイズ形式で楽し
みながら大事な知識を
身につけ、さらに
自己効力感が高まる
ようになります。

やればできる！

協働

地域⇔学校



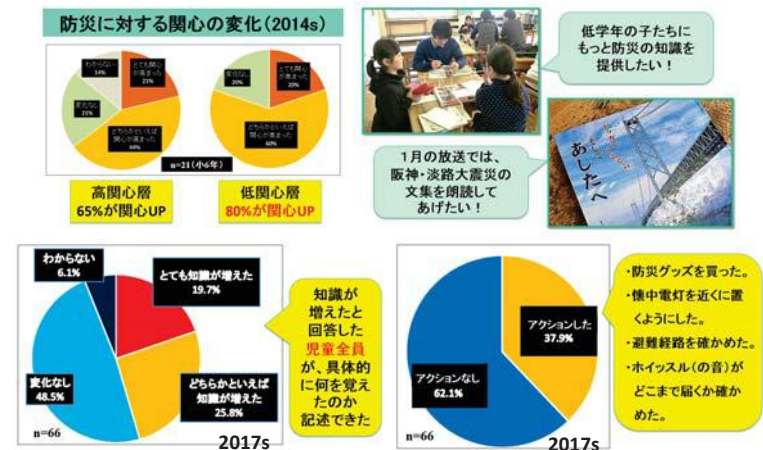
人気のコンテンツは、これだ！



毎回、放送後に教室で手によるアンケートを実施。
「おもしろさ」や「勉強になったか」を調査しています。
児童がローチューナーに扮して、防災グッズを紹介する演出は
真陽小学校で大人気！ 定番シリーズ化しています。
ラジオドラマの制作は、これまでに5本おこなっています。
防災ラジオドラマコンテストで最優秀賞・グランプリに
選ばれた実績もあります。



児童の成長、長期的な教育効果



メッセージ

通算100回記念！



信じてます
ことばの力

